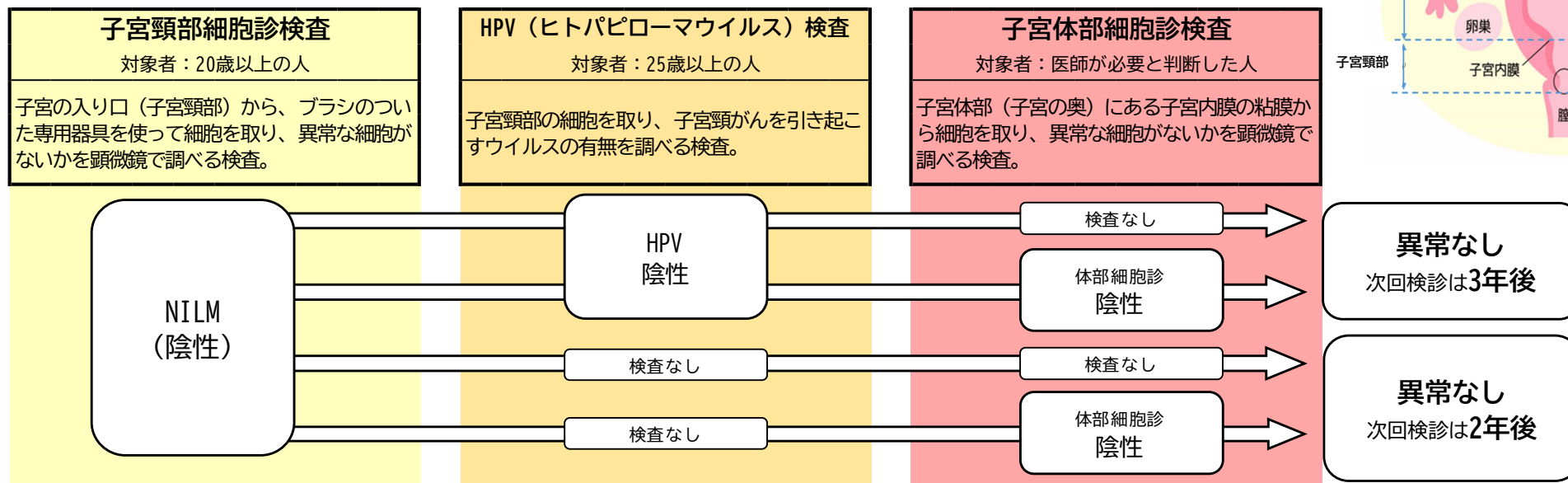
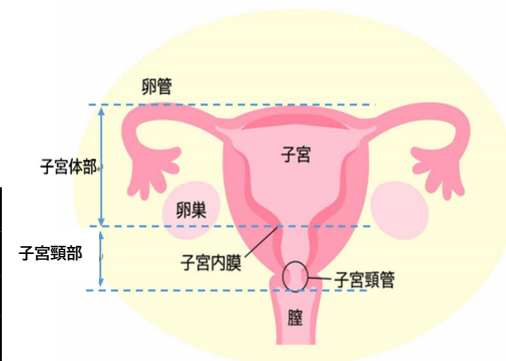


子宮がん検診をこれから受ける方・受けた方へ

子宮がんは女性のがんの中でもかかる人が多く、特に30～50歳代で多いがんです。
松江市では島根県の指針に基づき、「細胞診」と「HPV 検査」を併用し、より正確な診断を行っています。
早期発見・治療で大切な命を守るために、定期的に受診してください。

※月経(生理)中は避けて検査を受けてください



●上記以外の方は、検査や治療が必要です。

- ・内容や受診時期などについては、判定結果をご確認ください。
- ・次回の松江市子宮がん検診は1年後です。

※子宮頸部細胞診結果で「ASC-US」の場合、島根県の指針に基づき「要定期検査」となります。
マイナポータルに表示される結果と異なりますのでご注意ください。

自覚症状があれば、検診を待たずに、医療機関を受診しましょう。

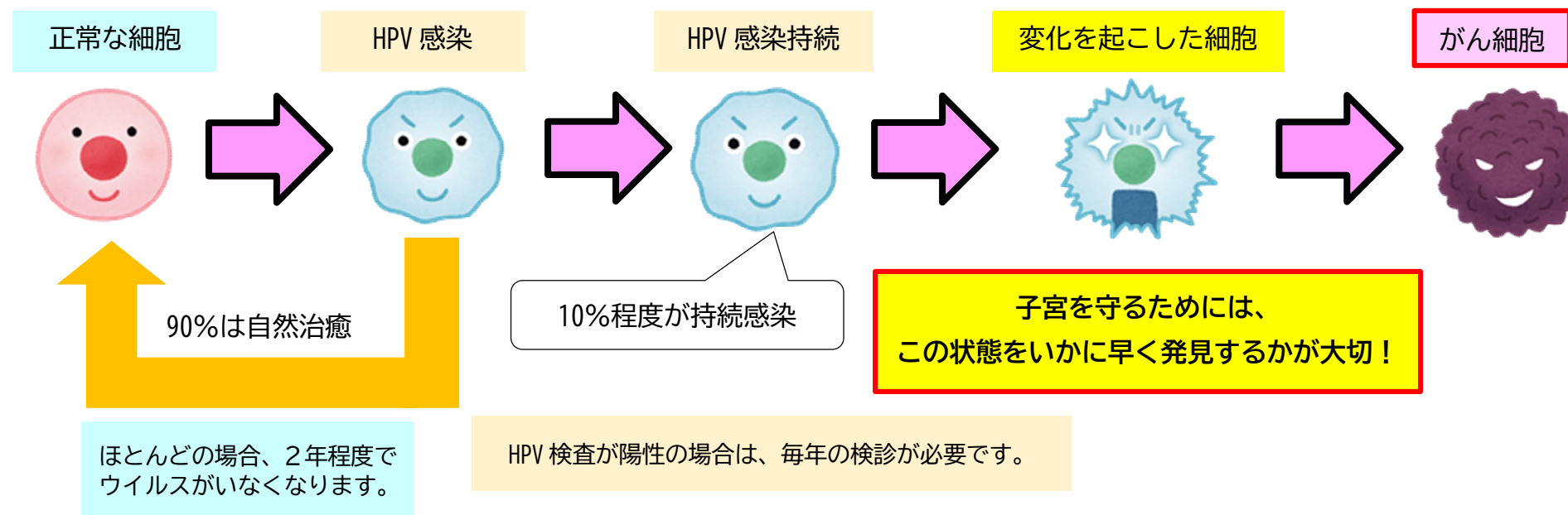


国の指針では子宮がん検診は2年に1回となっていますが、松江市では島根県の指針に基づいて判定をしており、**検診結果によって次回の検診が1～3年後**となります。

子宮頸がんの原因は、HPV(ヒトパピローマウイルス)

★HPV 検査はウイルスに感染しているかどうか、以前感染していたウイルスがいなくなっているかどうか、を確認する検査です。

★HPV 検査が陽性でも、子宮がん検診を毎年受けていれば、早期発見できます。



《ご確認ください》

- 低い確率ではありますが、検診にもデメリットがあります。
 - ・ がんではないのに「要精密検査」と判定される場合（偽陽性）や、がんがあるのに見つけることができない場合（偽陰性）があります。
 - ・ 検査によって、出血が起こることがあります。
- 検診は松江市と各医療機関が連携して行い、精密検査結果は関係機関で共有されます。